

令和7年2月3日

## 【富山県美術館】TAD アート・レクチャー開催

富山県美術館では、様々な角度で作品の魅力に迫る機会として、アーティストや研究者などによる講演会「TAD アート・レクチャー」を開催しています。

今回は、企画展「没後20年 東野芳明と戦後美術」[会期：令和7年1月25日（土曜日）～4月6日（日曜日）]にちなんで、京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授の平芳幸浩（ひらよし ゆきひろ）氏を講師にお招きし、『マルセル・デュシャンの「オリジナリティー」について』をテーマにレクチャーを行います。

### 概要

#### 講演会

#### テーマ

『マルセル・デュシャンの「オリジナリティー」について』

#### 内容

マルセル・デュシャンは、20世紀美術に決定的な影響を与えた芸術家です。企画展「没後20年 東野芳明と戦後美術」には、当館が誇るデュシャン作品が多数出品されています。このまたとない機会に、デュシャン研究の第一人者平芳幸浩氏から、大量生産の既製品を用いた作品で美術界に衝撃を与えたマルセル・デュシャンの「オリジナリティー」について、お話をうかがいます。

#### 日時

令和7年3月2日（日曜日）午後2時00分～午後3時30分予定  
（※）開場：午後1時30分

#### 講師

平芳幸浩氏（京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授）

#### 会場

富山県美術館3階 ホール

## 定員

---

80名／聴講無料、事前申込不要、先着順  
(※) ヒアリングループシステムをご利用いただけます。

## 注意事項

---

会場での飲食、講演会の録音・撮影等はできませんので、ご了承ください。  
内容等、都合により変更する場合があります。詳細はHP等でご確認ください。

## 講師略歴

---

### 平芳幸浩（京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授）

---



京都大学文学研究科博士後期課程修了  
専門は 20 世紀美術史、国立国際美術館主任研究員時代に『マルセル・デュシャンと 20 世紀美術』展を企画  
主な著書として『日本現代美術とマルセル・デュシャン』（思文閣出版、令和 5 年）、『マルセル・デュシャンとは何か』（河出書房新社、平成 30 年）ほか



富山県美術館  
アート&デザイン